

省くん、エネちゃんでエネルギーをチャージせよ!

広島県 北広島町立本地小学校

特徴

- 2月を「省エネ月間」として全校あげて活動を行った。
- 省エネキャラクター「省くん・エネちゃん」を設定。
- 1年から6年まで、すべての学年で校内の省エネに挑戦した。

省エネキャラクター 「省くん・エネちゃん」を設定。

本地小学校では、1月に行われた朝礼で、2月を「省エネ月間」として省エネに取り組むことを児童健康委員会が全校生徒に発表しました。省エネの大切さを伝えるために、ホッキョクグマのエピソードを紹介。地球温暖化によって北極の氷が溶けたことで、ホッキョクグマが餌を取りづらくなり絶滅しかけていること、そしてその原因は人間の出しているCO₂であることを報告しました。また、この朝礼では、ホッキョクグマをモチーフにした省エネキャラクター「省くん」と「エネちゃん」も紹介されました。「省くん」は手に省エネ蛍光灯を持ち、「エネちゃん」はエコバッグを持っています。このユニークなキャラクターで、生徒たちに省エネを定着させていきました。



本地小学校

ポスターを作って
省エネ情報を全校に発信

「省くん」(右)と「エネちゃん」(左)

1年生から6年生まで、 電気消費量削減に挑戦。

省エネ月間中は、さまざまな活動に取り組みました。この期間中は、トイレの電気を使わない時は消したり、移動教室の際は必ず電気を消すなど身近な省エネに取り組みました。また、教室のストーブの設定温度を低くしたり、休

憩時間はストーブを消してから遊びに行くようにするなど暖房にも気をつけました。

この他にも、生徒が学校でできることや家庭でできることを考え、さまざまな取り組みを実施したそうです。これらの活動の結果、今年2月の電気消費量は4,978kwとなり、昨年に比べて530kwの節電になりました。この成果は朝会で全校に向けて発表されました。省エネ月間を通して、環境について考え、楽しく省エネを実践できた1か月になったそうです。

<生徒たちの感想>

- ・今回の取り組みで、普段より省エネに気をを使うようになりました。掃除中は電気を消したりしました。今もそれを続けています。学校の電気消費量が減って良かったです。(6年生)
- ・ほくがが一番気をつけていたのはトイレの電気です。むだに使ったら地球の温度が高くなるからです。こういう小さなことからやるのが大切だと思いました。(5年生)
- ・ストーブを休憩中にこまめに消すことをがんばりました。先生が忘れているときでも、みんなで「消すのを忘れてます」と言って、こまめに消しました。(4年生)
- ・ホッキョクグマがかawaiiそうだから、省エネをがんばりました。(3年生)
- ・家で使っていない電気のコンセントを抜きました。ストーブがついているときはドアを閉めました。お母さんも声をかけてくれました。(2年生)
- ・遊ぶときに水道が出しっぱなしだったので、止めて遊びました。これからもがんばります。(1年生)

【エネルギー削減率】 10.0%

■プロフィール

所在地: 広島県山県郡
参加生徒数(学年): 121人(1~6年生)
省エネ活動について: 今回はじめて実践